

演題番号	39-2
演題名	当院での地域支援活動への取り組み ～地域の関連機関と連携して～

都道府県	山口県		
施設名	医療法人社団生和会 周南リハビリテーション病院		
発表者氏名	万田 祥秀	発表者職種	作業療法士
共同演者氏名	二見 信次		

【COIについて】

 申告すべきCOI(利益相反)がある。 申告すべきCOI(利益相反)がない。

【倫理的配慮について】

 倫理委員会の承認を得ている。 倫理委員会の承認を得ていない。

はじめに

2025年に向け地域包括ケアシステムの構築が進められる中、リハビリ専門職は地域包括支援センター等の機関等と連携して、地域住民の介護予防等に向けた取り組みを総合的に支援することが求められている。

今回、市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会や地元の大学及び企業等と連携して実行委員会を設立し、地域住民の健康増進を目的とした活動に取り組むことができたため、ここに報告する。

実行委員会の紹介

Keep Habilitation in shunan ! 実行委員会



理念：「地域みんなで安心と生きがいを創りだす」

- ① 心身の健康づくりを通じて、市民全体の健康寿命の延伸を目指す。
- ② 地域住民の自助・互助の意識を高める。
- ③ 安心・生きがいを感じることが出来る環境・場所・サービスをつくる。

活動の内容①

場所：イオンタウン周南内の空き店舗

開催日・開催時間：毎月15日（G.G感謝デー）10:00～15:00

定期実施内容

- ①体成分計測（InBody使用）
- ②血圧測定
- ③血管年齢測定
- ④相談対応



In Body

+

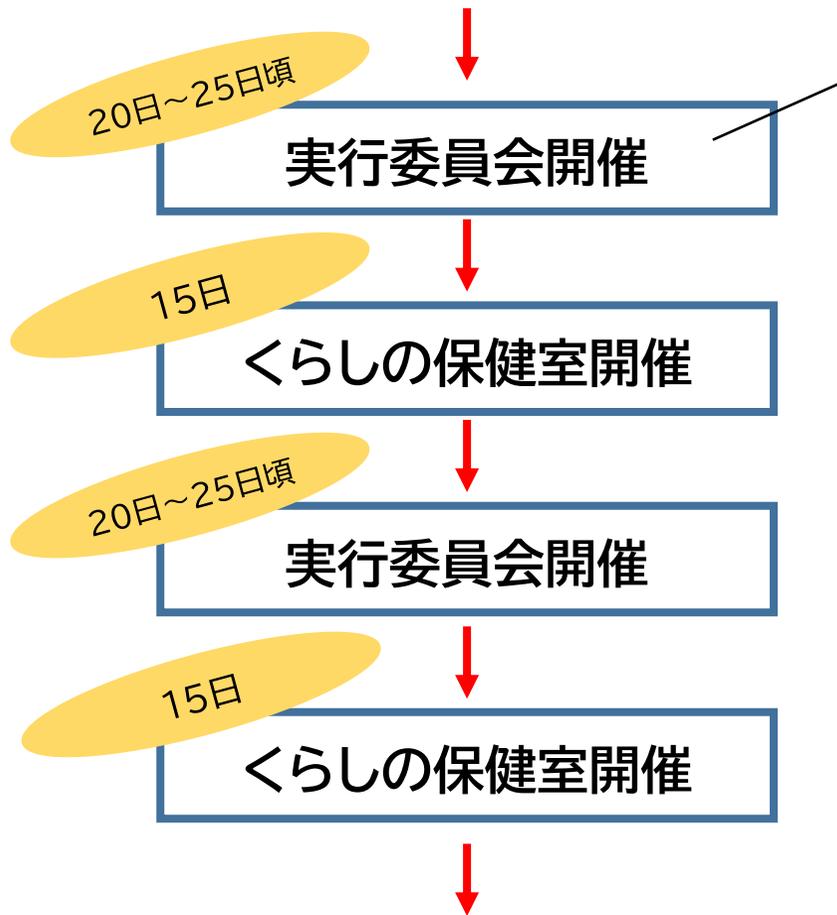
メイン企画

協力者の強みに応じた
月替わりのメニューを考案

健康増進イベント

くらしの保健室 in イオンタウン周南を開催

活動の内容②



- ※その月の「くらしの保健室」開催後に実施
- ① 前回実施の「くらしの保健室」の振り返り
 - ② 次回・次々回の企画についての確認と協議
 - ③ その他案件の協議

例) 5月の実行委員会では…

- ① 5月開催の「くらしの保健室」の振り返り
- ② 6月の「くらしの保健室」の内容確認
7月の「くらしの保健室」の内容協議
- ③ その他案件の協議

・協力の申し出について、委員会の機能・取り組みについて 等



【チラシ・ポスターの作成】
「くらしの保健室」開催時に翌月分のチラシを配布できるように準備。

【周知活動】

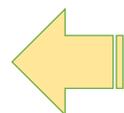
- ・イオンタウン周南にて切れ目なく掲示
- ・病院HPで開催後の報告と次回の案内
- ・委員会メンバーが地域へチラシを配布

活動の結果①(企画内容)

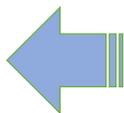
月	月替わり企画	
2019.3	ロコモティブシンドロームチェック (LHR-100を用いた歩行評価)	福祉機器メーカーの協力
2019.4	TUGテスト (Q'z TAG Walk plus使用)	
2019.5	カイロプラクターによる姿勢チェック 歯科衛生によるお口の健康相談	民間(カイロプラクター)の協力
2019.6	作業療法士と地域ボランティアによる 手作業(絵手紙作成) 熱中症キャンペーン①	地域ボランティアの協力
2019.7	理学療法週間イベント(県理学療法士会) 熱中症キャンペーン②	職能団体との共同開催
2019.8	ロコモティブシンドロームチェック (立ち上がりテスト・2ステップテスト) 体操紹介(太極拳・いきいき百歳体操)	転倒予防指導士の協力

活動の結果①(企画内容)

月	月替わり企画
2019.9	作業療法士による脳のトレーニングジム
2019.10	人生会議してみませんか？ ・エンディングノート紹介 ピンクリボン月間キャンペーン
2019.11	理学療法士による歩行チェック 作業療法士による脳のトレーニングジム 第2弾
2019.12	「栄養・食・運動」に関する相談対応 ST・管理栄養士・PT・OT・看護師
2020.1	アロマセラピー体験
2020.2	歩行チェック (Q'z TAG Walk plus使用)



他機関に所属する作業療法士の協力

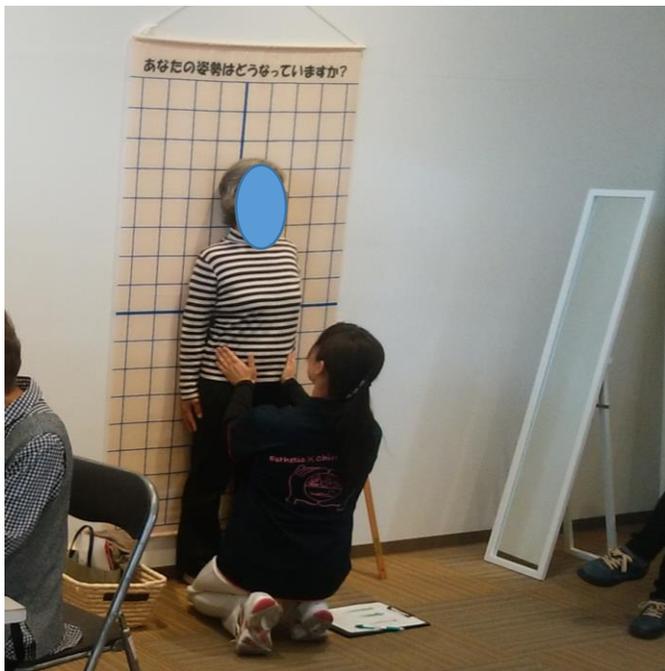


他機関に所属する言語聴覚士の協力

活動の様子

第3回目 5月15日

カイロプラクターによる姿勢チェック



第4回目 6月15日

作業療法士と地域ボランティアによる 手作業(絵手紙作成)



活動の結果②(参加状況)

月別参加者数(人)

2019年 3月	2019年 4月	2019年 5月	2019年 6月	2019年 7月	2019年 8月	2019年 9月	2019年 10月	2019年 11月	2019年 12月	2020年 1月	2020年 2月
94	121	102	68	132	51	100	83	59	69	67	105

累積参加者数(人)

2019年 3月	2019年 ~4月	2019年 ~5月	2019年 ~6月	2019年 ~7月	2019年 ~8月	2019年 ~9月	2019年 ~10月	2019年 ~11月	2019年 ~12月	2020年 ~1月	2020年 ~2月
94	215	317	385	517	568	668	751	810	879	946	<u>1051</u>

活動の結果③(参加者の反応)

(2020年1月15日実施したアンケートより)

80歳代	女性	1ヶ月に1回参加させていただくと、自分の身体の状態がわかるので大変喜んでます。
70歳代	女性	毎月よい結果が出て、ほめてもらえるのがうれしい。これからも頑張ります。4月から毎回来ている。確認の場、励みになる。毎回、若い人に会えて元気をもらえる。
70歳代	女性	1ヶ月に1度あることで、自分の現状を定期的に把握できる。日頃気になっていることの成果や後退も知ることで、自分の健康のバロメーターとして活用できる。
70歳代	女性	グランドゴルフ、体操、太極拳をしていたが足を手術してやめた。歩こうと思う。体脂肪増、毎月計測できる。足のかかとあげ、ゆっくりするように助言をもらって、みんなに教えるようになった。
70歳代	女性	身体の変化が見れるので、毎回来ている。企画もとても良い。
60歳代	女性	身体の状態を知ることができて良かった。
60歳代	女性	健康に気をつけたいと思うきっかけになりました。
60歳代	女性	専門職に会える。同じ測定を毎月できる。無料でできる。
60歳代	女性	水分量等体のことがわかること。検査用をみて教えていただけたところ。「なんでも相談」で相談できること。がよい。
50歳代	女性	不安解消できた。不足の栄養があらためてわかって良かった。
50歳代	女性	日頃、健康に気をつけようと改めて思う。
50歳代	女性	4月～ほとんど毎回参加している。歩行チェックをしたとき、歩き方のくせを指摘され、歩き方が変わった。健康面に関心がある。身になる・役立つ情報、体験ができて良い。具体的なアドバイスがもらえて良い。

まとめ・考察

①リハビリ専門職として

リハビリ専門職としての強みを生かした企画を協力機関と連携して開催したことで、活動の場が広がったことを実感した。

まとめ・考察

②地域住民にとって

商業施設での活動に参加したことにより、専門職と身近に関わることができた。また、自らの生活習慣や健康・生き方について考える機会となった。

まとめ・考察

③実行委員会として

活動を継続しながら仲間が増えたことにより、企画のバリエーションが増加した。協力機関・協力者のネットワークができた。

今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により

2020年3月から活動を**休止**

感染予防に配慮して、地域住民に健康づくりや生きがい創りを啓発するため、広報誌を使用した情報の発信を関連機関と検討している。

